

○計画期間：平成27年1月～令和2年3月（5年3月）

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 平成30年度終了時点（平成31年3月31日時点）の中心市街地の概況

本市は、平成27年1月に国の認定を受けた「石巻市中心市街地活性化基本計画」に基づき、目指す「まち」の姿「彩り豊かな食と歴史が薫る川辺のまち」の実現に向けて、震災で甚大な被害を受けた中心市街地で市民との協働によって各復興事業を展開することにより、都市機能の回復及び更なる活性化を目指している。

平成30年度は、（旧北上川）川沿いエリアで展開中のかわまち交流拠点の整備が進み、「石巻市かわまち交通広場」が6月に完成したほか「石巻市かわまち交流センター」が9月にオープンした。平成29年度に完成した同エリア内の「いしのまき元気いちば」や「石巻市かわまち立体駐車場・バス駐車場」との相乗効果により、川沿いエリアは大きな賑わいを見せている。

また、本年7月から供用開始予定の堤防一体空間において民間事業者による飲食営業が予定されており、更なる賑わいが生まれるものと予想される。

同エリアへの来訪者数は順調に伸展しているが、立町・中央エリアや駅前エリア等では同様の効果は生まれておらず、完成した拠点施設で生まれた賑わいを中心市街地全体にどう波及させるかが課題となっている。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

（基準日：毎年度9月末日）

（中心市街地 区域）	平成25年度 （計画前年度）	平成26年度 （1年目）	平成27年度 （2年目）	平成28年度 （3年目）	平成29年度 （4年目）	平成30年度 （5年目）
人口	151,068人	150,114人	148,968人	147,926人	146,516人	144,823人
人口増減数	△1,182人	△954人	△1,146人	△1,042人	△1,410人	△1,693人
自然増減数	△620人 （平成25年中）	△770人 （平成26年中）	△760人 （平成27年中）	△936人 （平成28年中）	△975人 （平成29年中）	△1,076人 （平成30年中）
社会増減数	△354人 （平成25年中）	△322人 （平成26年中）	△316人 （平成27年中）	△235人 （平成28年中）	△490人 （平成29年中）	△557人 （平成30年中）
転入者数	4,441人 （平成25年中）	4,348人 （平成26年中）	4,191人 （平成27年中）	3,987人 （平成28年中）	3,871人 （平成29年中）	3,994人 （平成30年中）

2. 平成30年度 of 取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

本市では、石巻商工会議所、株式会社街づくりまんぼう及び市が事務局となり市民・事業者で構成する中心市街地活性化協議会において、中心市街地活性化の総合的かつ一体的な推進に関する

る協議を行うこととしている。

平成30年度は、平成31年1月の協議会総会において、中心市街地の活性化に向けた取組みの周知や、中心市街地活性化基本計画の変更案（同年3月認定）についての概要を説明し、了承された。

II. 目標ごとのフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況	前回の見通し	今回の見通し
定住人口の増加	中心市街地における定住人口	2,777人 (H25)	3,812人 (H31)	2,872人 (H31.3)	B	①	②
交流人口の増加	2施設の利用者数	241,208人 (H25)	1,241,200人 (H31)	1,238,680人 (636,406人)※ (H30)	B	①	①
交流人口の増加	歩行者・自転車通行量	15,002人 (H25)	16,950人 (H31)	17,790人 (H30.10)	A	①	①

※2施設の利用者数について、H30より積算方法変更（下段は既存の積算方法による）

<基準値からの改善状況>

A：目標達成、B：基準値達成、C：基準値未達成

<取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

- ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

2. 目標達成見通しの理由

①「中心市街地における定住人口」について

平成29年度比95人減少となっているが主に自然減によるものと考えられる。現在継続中の優良建築物等整備事業7地区のうち、2地区が計画期間内に完成予定であり、住宅等の整備が進められることで人口増加が見込まれているが、自然減等の影響を加味すると、目標値までの増加は見込みづらい状況となっている。

②「2施設の利用者数」について

平成29年6月末にオープンした「いしのまき元気いちば」の来場者数を通年で計上できるようになったため、平成29年度と比べて増加している。また、「いしのまき元気いちば」の利用者数について、昨年度まではレジ通過者数を計上していたが、来場者カウンター等を活用してより実態に近い値を計上できるようになったため、大幅な増加となっている。なお、レジ通過者数の比較においても大幅な増加を示しており、目標達成に向けて非常に順調に進捗していると言える。

③「歩行者・自転車通行量」について

「いしのまき元気いちば」周辺を中心に増加し、目標値を上回る結果となっている。なお、休日の調査日とウォーキングアプリ「ポケモンGO」のイベント開催日が重なったことから、平時の数値より若干の上乗せがあったと思われる。しかし、特段のイベント等がなかった平日の調査日も昨年と比べて増加しており、全体的に増加傾向にある。今後、（旧北上川）川沿い

エリアで展開中の事業の進捗により、更なる増加が見込まれる。

3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

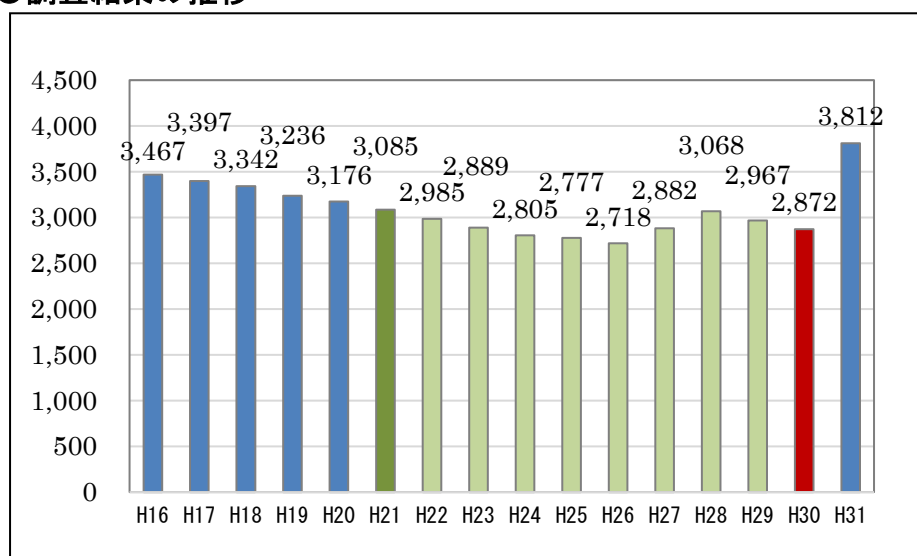
①「中心市街地における定住人口」について

全7地区で優良建築物等整備事業が進められており、その事業効果の発現により大幅な人口の増加が見込まれているが、令和元年度中に完成予定の事業は全7地区のうち2地区であり、自然減の影響を考慮すると計画期間内に目標値に達する人口の増加は困難と判断し、評価を改めたものである。

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

「中心市街地における定住人口」※目標設定の考え方基本計画 P63～P66 参照

●調査結果の推移



年	(人)
H23	2,889 人
H24	2,805 人
H25	2,777 人 (基準年値)
H26	2,718 人
H27	2,882 人
H28	3,068 人
H29	2,967 人
H30	2,872 人
H31	3,812 人 (目標値)

※調査方法：住民基本台帳法

※調査月：毎年度3月末日

※調査主体：石巻市

※調査対象：中心市街地に居住する人数

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 優良建築物等整備事業（民間事業者）

事業実施期間	平成25年度～【実施中】
事業概要	被災した建築物の建替え事業に補助を行うことにより、市街地環境の改善と防災力の向上を図り、災害に強いまちづくりと震災復興を推進する。
国の支援措置名及び支援期間	[支援措置] 復興交付金（優良建築物等整備事業・基幹事業）等 [支援期間] 事業により異なる
事業効果及び進	本事業は、定住人口の増加及び歩行者・自転車通行量の増加に効果

抄状況	のある事業である。立町二丁目4番地区、中央二丁目3番地区（A1地区）の2件は平成30年度に地盤調査及び実施設計が完了。中央二丁目3番地区（A2地区）は事業計画策定中であり、平成31年（令和元年）5月より実施設計に着手予定。立町一丁目3番地区（B地区）は実施設計中。中央二丁目4番南地区は平成30年1月から建築工事に着手。以上5件のうち2件が計画期間内に完成予定。このほか2地区においても、令和2年度中の整備完了を目標に事業が進められている。なお、本事業を含めた民間分譲住宅整備による居住人口増加数の目標値は811人である。
事業の今後について	すべての地区において、竣工と同時に効果発現が見込まれる。今後も、まちなか居住の促進とともに、中心商店街の賑わいを図ることを目的に、住居及び店舗の整備に向けて事業を進めていく。

②. 市街地再開発事業（民間事業者）

事業実施期間	平成24年度～平成30年度【済】
事業概要	被災市街地において、商業施設や住宅等の複合施設を建設するとともに、屋外空間の一体整備を行う再開発事業者に対して補助金を交付し、再開発事業を支援する。
国の支援措置名及び支援期間	[支援措置] 復興交付金（市街地再開発事業・基幹事業） 社会資本整備総合交付金（都市・地域再生緊急促進事業） [支援期間] 事業により異なる
事業効果及び進捗状況	本事業は、定住人口の増加及び歩行者・自転車通行量の増加に効果のある事業である。平成27年度に建物竣工、分譲住宅（77戸）へ入居開始した中央三丁目1番地区では、店舗も全ての区画が開店。平成28年10月に公営住宅（21戸）、平成29年2月に分譲住宅（32戸）が入居開始し、商業施設も開店した立町二丁目5番地区では、平成30年7月に高齢者福祉施設が開業した。平成28年10月に公営住宅（54戸）、分譲住宅（25戸）が入居開始し、高齢者福祉施設も営業開始している中央一丁目14・15番地区では、平成30年12月に離島航路施設が開業した。本事業を含めた復興公営住宅事業による居住人口増加数の目標値は380人であるが、平成30年度末時点での入居者数は320人となっており、定住人口の増加に相当程度貢献している。
事業の今後について	公営住宅、民間分譲住宅を合わせて209戸整備され、中心市街地の定住人口の増加に寄与した。また、併せて整備された商業施設、高齢者福祉施設、離島航路施設により、交流人口の増加促進が期待される。

●目標達成の見通し及び今後の対策

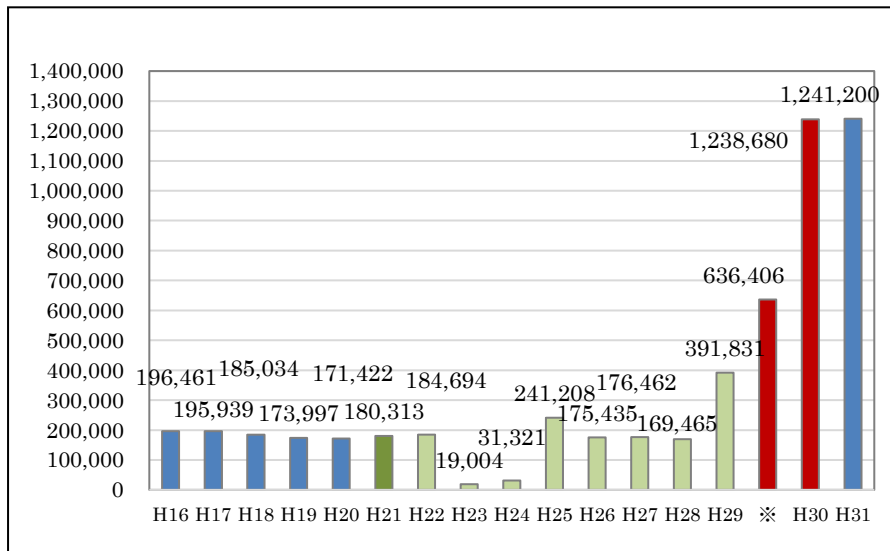
中心市街地における定住人口は前年比95人減となっている。住宅の整備を伴う優良建築物等整備事業が計画期間内に2地区で完成予定であり、人口増加が見込まれているが、自然減等の影響を加味すると、目標値までの人口増加は見込みづらい状況となっている。

今後も事業の進捗状況等を調査し、状況に応じた改善措置を講じていく必要がある。

平成30年度は、平成29年度と同様おおむね計画通りに進捗しているが、当初の予定より遅延している事業もあることから、補助事業の適切な執行管理や事業者に対する助言等の手法により進め、事業スケジュールを考慮しつつも地権者の私的財産や生活に配慮した着実な進捗を図る必要がある。

「2施設の利用者数」 ※目標設定の考え方基本計画 P67～P69 参照

●調査結果の推移



年	(人)
H23	19,004 人
H24	31,321 人
H25	241,208 人 (基準年値)
H26	175,435 人
H27	176,462 人
H28	169,465 人
H29	391,831 人
H30	1,238,680 人 (636,406 人)
H31	1,241,200 人 (目標値)

※調査方法：施設の利用者数の集計

※調査月：毎年度12月末

※調査主体：石巻市

※調査対象：石ノ森萬画館入場者数、いしのまき元気いちば利用者数

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 石ノ森萬画館実施事業（石巻市）

事業実施期間	平成13年度～【実施中】
事業概要	石ノ森萬画館にて、「マンガの街いしのまき」を体感してもらうきっかけづくりとして各種事業を開催する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置活用なし
事業効果及び進捗状況	萬画館来場者数は187,150人となり、平成31年度目標の241,200人には到達していないが、前年比約8千人増となっ

	ており、順調に増加していると言える。常設展示の4度に亘る入れ替えやそれに伴うイベントの開催、「サンリオキャラクターズ かわいいのヒミツ展」や「ビッグコミック50周年展」等人気の高い企画展による効果であると考えられる。
事業の今後について	今後も数多くのイベントの実施、SNSでの情報発信や全国から足を運んでもらえるようなオリジナリティのある企画展の開催等、来館者数に繋がるきっかけ作りを行う。

②. かわまち交流拠点（生鮮マーケット等）整備事業（石巻市）

事業実施期間	平成25年度～平成32年度【実施中】
事業概要	街なかの賑わい創出を図るため、川と一体的なまちづくりとして、生鮮マーケット・公共施設・交通広場等で構成される観光交流拠点を土地区画整理事業等により整備する。
国の支援措置名及び支援期間	<p>[支援措置]</p> <p>①復興交付金（被災市街地復興土地区画整理事業・基幹事業、効果促進事業）</p> <p>②復興交付金（暮らし・にぎわい再生事業（中央地区）・基幹事業、効果促進事業）</p> <p>[支援期間]</p> <p>①平成26年度～平成32年度</p> <p>②平成26年度～平成29年度</p>
事業効果及び進捗状況	平成30年6月には「交通広場」、8月には「かわまち交流センター」が完成し、川沿いエリアの整備が進んだことによる効果や、「うに祭り」「いちごフェア」「ほやフェス」といった旬に合わせたイベントを毎週のように開催し、地元紙や広報誌に広告を掲載することで、「いしのまき元気いちば」の利用者数は大幅に増加し、平成31年度の目標値である1,000,000人を超え、1,051,530人となった。
事業の今後について	令和元年中に完成予定の「堤防一体空間」を、飲食営業やイベント会場として民間事業者に開放するなど、周辺施設との相乗効果により、更なる利用者数の増加を目指す。

●目標達成の見通し及び今後の対策

平成29年6月末にオープンした「いしのまき元気いちば」の利用者数について、平成30年度から通年で計算できるようになったことや、これまではレジ通過者数を計上していたが平成30年度は来場者カウンターの導入により実数に近い数字を計上できるようになったことなどにより、昨年度の「212,285人」から「1,051,530人」に大幅に増加した。

これにより、石ノ森萬画館の来館者数との合算で「1,238,680人」となり、目標値に非常に近い値となった。

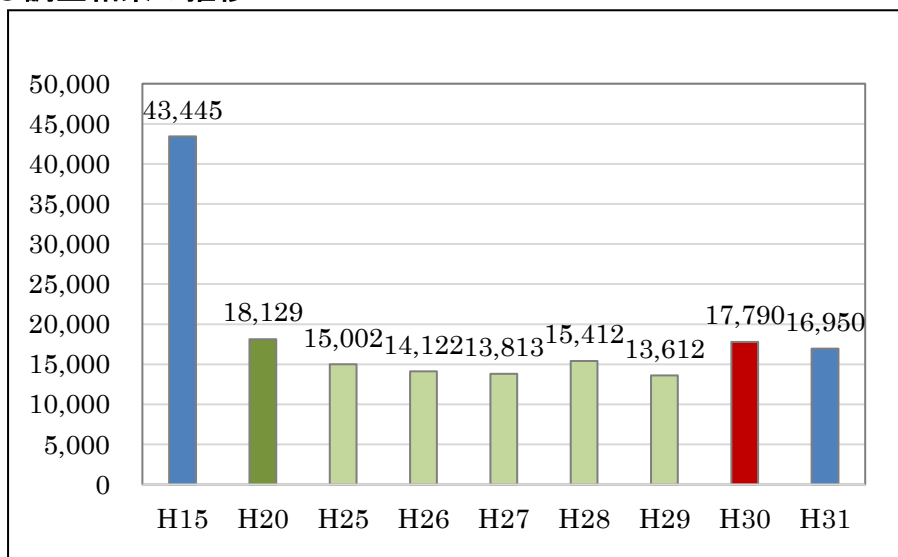
なお、「いしのまき元気いちば」の利用者について、これまで通りレジ通過者数を計上したと

しても、石ノ森萬画館の来館者数との合算で「636,406人」となり、昨年度から大幅に増加している。

今後も川沿いエリアの整備が進み、各施設の相乗効果により目標を達成する見込みとなっている。本市の第三セクターであり石ノ森萬画館の管理運営を行うTMO「株式会社街づくりまんぼう」と協力してイベントの開催や魅力発信活動等を行い、より利用者数の増加が見込める対策を講じていく必要がある。

「歩行者・自転車通行量」※目標設定の考え方基本計画 P67～P69 参照

●調査結果の推移



年	(人)
H15	43,445 人
H20	18,129 人
H25	15,002 人 (基準年値)
H26	14,122 人
H27	13,813 人
H28	15,412 人
H29	13,612 人
H30	17,790 人
H31	16,950 人 (目標値)

※調査方法：石巻市中心市街地通行量調査

※調査月：平成15年10～11月、平成20年5月、平成25年11月、平成27年3月、平成27年11月、平成28年5月、平成29年11月、平成30年10月

※調査主体：石巻市

※調査対象：平日、休日における歩行者と自転車通行量の合算値

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. かわまち交流拠点（生鮮マーケット等）整備事業（石巻市）【再掲】

事業実施期間	平成25年度～平成32年度【実施中】
事業概要	街なかの賑わい創出を図るため、川と一体的なまちづくりとして、生鮮マーケット・公共施設・交通広場等で構成される観光交流拠点を土地区画整理事業等により整備する。
国の支援措置名及び支援期間	[支援措置] ①復興交付金（被災市街地復興土地区画整理事業・基幹事業、効果促進事業） ②復興交付金（暮らし・にぎわい再生事業（中央地区）・基幹事業、効果促進事業）

	<p>[支援期間]</p> <p>①平成26年度～平成32年度</p> <p>②平成26年度～平成29年度</p>
事業効果及び進捗状況	平成29年6月末にオープンした生鮮マーケット「いしのまき元気いちば」に最も近い調査地点では、平日休日の通行量の合計値が4,599人と昨年の1,485人に対し3倍を超えた。平成28年度(704人)比では6.5倍となっており、非常に大きな事業効果が表れている。本事業における歩行者・自転車通行量増加の目標値を2,684人に定めており、当該施設に訪れる利用者の回遊により、目標を上回る効果が生まれていると推測される。
事業の今後について	周辺の整備との相乗効果により更なる通行量の増加が見込まれるため、当該エリアで生まれた賑わいを周辺へ波及させる仕組みを検討し、中心市街地全体の賑わいに繋げていく必要がある。

②. 石巻市子どもセンター事業（石巻市）

事業実施期間	平成25年度～【実施中】
事業概要	子どもセンターにおいて、小中高生が中心となり中心市街地活性化に係る商店街との連携企画を実施し、一体となったソフト事業を展開する。
国の支援措置名及び支援期間	<p>[支援措置]</p> <p>中心市街地活性化ソフト事業</p> <p>[支援期間]</p> <p>平成27年度～平成31年度</p>
事業効果及び進捗状況	当施設において、商店事業者と子ども達で企画したイベントを通して商店街の賑わいづくりを行うことにより、歩行者・自転車通行量の増加が見込まれることから、目標値を112人に定めている。平成30年度の入場者数は27,722人、1日平均88人であった。イベント開催回数は、平成30年度で5回目となる商店街協力のもと開催されたハロウィン祭りのほか、子ども向けイベントや親子で参加できるワークショップ、子育てサークル、こども企画等の合計で236回となり、通行量に相当程度貢献していると推測される。
事業の今後について	今年度から指定管理者制度を導入しており、民間事業者のノウハウや、施設を利用する子どもの意見を取り入れながら、より活発な活動を行っていく。

●目標達成の見通し及び今後の対策

歩行者・自転車通行量は前年比4,178人増の17,790人となり、震災後の平成25年度以降実施の中では最大、目標値の16,950人をも上回る結果となった。なお、休日の調査日とウォーキングアプリ「ポケモンGO」のイベント開催日が重なったことから、平時の数値よ

り若干の上乗せがあったと思われる。しかし、特段のイベント等が無かった平日の調査日も昨年と比べて増加しており、全体的に増加傾向にある。

地点別にみると、「いしのまき元気いちば」を中心としたかわまち交流拠点整備事業を展開する川沿いエリアの通行量の増加数は非常に大きく、今後も整備が進むことで更なる通行量の増加が見込まれる。

商店街や石巻駅周辺など川沿いエリアから離れた地点では、平日の通行量が減少傾向にあるため、川沿いエリアからの賑わいの誘導が大きな課題となっている。各施設等で行われるイベントに際し、周辺商店街や駅前エリアと連動した企画など、中心市街地全体へ通行量の増加を波及させる取組を検討していく。